

第5学年「音楽科」シラバス

5年生ではこんな学習をします

学習の目標

創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにします。
様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにします。

学習の方法

学習した曲を、学校や家庭他いろいろな場で、友だちと合わせて歌ったり演奏したり鑑賞したりし、目的に応じた様々な表現活動を行います。
他教科とも関連をもたせ、広がりのある活動を行います。

学習の評価

音楽科では次の観点で評価します。
「音楽への関心・意欲・態度」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 取り組み状況の観察、演奏の聴取
「音楽表現の創意工夫」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 取り組み状況の観察、演奏の聴取
「音楽表現の技能」
演奏の聴取、表現の技能・理解等のテスト（自己・相互評価を加味）
学習プリントなど
「鑑賞の能力」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 学習プリントなど

年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容	
前期	1 にっぽんのうたみんなのうた	情景を想像し、旋律の特徴を味わって表現します。	
	2 音の重なりとひびき	主旋律と低音がつくる音の重なりを感じ取って表現します。 和音がつくる響きを感じ取って表現します。	
	3 アンサンブルのみりよく	声の種類を知り、さまざまな形態による合唱の響きの特徴を感じ取って聴きます。 歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫して合唱を楽しみます。	
	26時間	4 言葉と音楽	楽器の音色を捉え、音の重なりや響きを味わいながら、表現したり鑑賞したりします。 同じ詩をもとにつくられた二つの楽曲の、それぞれの特徴を感じ取って聴きます。
		5 音のスケッチ	旋律の流れに気を付けて、情景を思い浮かべながら鑑賞したり、歌い方を工夫したりします。 声の表情に変化をつけ、音楽の仕組みを工夫しながら表現します。
後期	6 音楽の旅	表現や鑑賞を通して日本の民謡や子守歌に親しみます。 いろいろな国の音楽の特徴や違いを感じ取りながら、よさを味わって聴きます。	
	7 豊かな表現を求めて	拍の流れにのって、フレーズや旋律の流れを生かして表現します。	
	24時間	8 にっぽんのうたみんなのうた	季節の変化や自然を感じて情景を想像しながら表現します。
		9 音楽のききどころ	情景や心情を想像し、表情豊かに表現します。
		10 心を合わせて	主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いを捉え変奏曲を楽しみます。 パートの役割を生かし、生き生きと演奏します。 歌詞の内容を理解し、情景や気持ちを感じながらバランスに気を付けて歌います。